

熊本県看護連盟

ひごつばき

HIGO TSUBAKI

vol. 43

2022.4.12発行



くまもと花とみどりの博覧会(街なかエリア)

CONTENTS

会長あいさつ(矢野メリ子・大島敏子)	2P
国会議員たより(あべ俊子・たかがい恵美子・石田まさひろ)	3P
2021年度 日本看護連盟通常総会報告/ともう りお氏 紹介	4P
2022年度 熊本県看護連盟通常総会プログラム・総決起大会/第1号議案2022年度 スローガン(案)	5P
第2号議案 2022年度熊本県看護連盟活動計画(案)	6~7P
第3号議案 2022年度熊本県看護連盟予算(案)	8P
2021年度熊本県看護連盟リーダー研修会報告/熊本県看護協会、看護連盟合同研修会報告	9P
2021年度九州ブロック協議会看護連盟会長・副会長・幹事長・青年部研修会/ともう りお氏フォローを	10P
全国ポリナビワークショップ2022	11P
入会会員数・お知らせ・編集後記	12P



熊本県看護連盟会長あいさつ



熊本県看護連盟
会長
矢野 メリ子

厳しかった冬を乗り越えた様々な花々の息吹きを感じています。今年は熊本で国内最大級の花と緑の祭典「全国都市緑化フェア 花と緑の博覧会」が開催されて、表紙も花博の写真です。花には生命を元気にし、癒してくれる力があります。しばし、コロナを忘れ幸せな気分になってみたいものです。

会員の皆様には、日頃より看護連盟事業にご支援・ご協力を賜りありがとうございます。おかげさまで、2021年度の事業もどうにか終わることができ、新年度に気分も新たに活動を始めたところです。

皆様には、コロナ禍の中でまだまだ余裕のない毎日の事と思います。そのような中でここ2年間の看護職の働きが注目され、看護師に憧れる子供さんが増えているという事も聞いております。懸命に看護するその姿が子供たちにそのようなことを思わせている看護職の仕事は本当に素晴らしいと思います。一日も早くコロナが収束し安心・安全な日常が戻り、一人一人の患者さんに向き合える日が来る事を願っています。

さて、今年の熊本県看護連盟通常総会は5月15日に開催予定です。コロナウイルスの感染状況が予測できませんが、感染対策を十分とりながら多くの皆様に参加いただき開催したいと思っております。今、2021年度日本看護連盟通常総会で決議されました組織内候補予定者「ともものりおを応援する会」への入会を勧めております。看護連盟入会と合わせ会員の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。看護現場の問題・課題を政策に繋げ、看護職の処遇改善の実現の為、私たちの声を国政の場へ送り届けてまいりましょう。

どうぞよろしくお願い致します。

日本看護連盟会長あいさつ



日本看護連盟
会長
大島 敏子

二年間にわたるCOVID-19の感染にいのちと向き合い、看護し続ける看護職に心からの感謝と敬意を表します。

皆さんたちのひたむきな頑張りとは先輩看護職のこれまでの忍耐と社会貢献のお陰で、看護職給与アップの話が持ち上りました。

岸田政権がマニフェストに掲げたのです。2月から救急医療に対応した病院の看護職57万人に1% (4,000円相当)の支給が開始され、10月からは、診療報酬で充当されることになりました。しかし、連盟と協会も日本の看護職168万人全員の3% (12,000円相当)の基本給アップを求めています。それを実現するには、皆様の力が必要です。そうです。7月の参議院選で、しっかり看護職代表が高得票で当選することが必須です。それには、投票に行く頂くことです。

こんな形で給与のアップが取り上げられたことは、連盟63年の歴史の中で初めての事です。今度の選挙は、看護職の「賃金アップ実現選挙」です。

1月31日自民党の公認を得て、2月24日連盟会長会において全会一致で、翌25日、令和3年度通常総会において、第26回参議院選挙の組織内候補予定者に「友納理緒」氏が賛成多数で決議されました。

ともものりおさんは、高校時代にマザーテレサの施設を訪れ、看護の持つ素晴らしさに感動し、憧れと期待をもって看護師となりました。大学院時代に起こった医療事故の報道を見て、こんなに頑張っている看護職が守られていないと感じて弁護士になる決心をしたそうです。看護職を守り助けるために大変な時間と労力をかけて資格を取得後は、多くの臨床現場の問題を法律の上で解決する支援をしていました。一途な開拓者精神を持ち合わせた人です。

看護界にとっては、看護職の給与が公定価格の名のもとに長い年月、低く抑えられてきた処遇改善が実現するかどうかは、この参院選にかかっています。

日本国中の看護職が千歳一隅のチャンスを生かすか否か、看護専門職として自ら考え行動しましょう。あなたの1票を大切に!

国会議員たより



衆議院議員
あべ 俊子

- ◎自由民主党
 - ・国会対策副委員長
 - (厚生労働担当、復興担当)
- ◎衆議院
 - ・外務委員長

いつもご指導いただきありがとうございます。
昨年末、岸田政権下において看護師賃金の段階的な引き上げが決定いたしました。看護職こそ医療のフロントラインに立ち、エッセンシャルワーカーとして社会を支えてきたという役割が認められたところです。

今回の賃金向上は、「地域のコロナ医療を担った医療機関」に勤務する看護師を対象にした予算措置ですが、10月からは診療報酬での対応となります。看護職の勤務状況は厳しいものです。体力勝負であり、夜勤もあります。お金のためだけに働いているわけではありませんが、賃金には、厳しい仕事に従事していること、高い専門性を必要とすることへの評価が反映されるべきです。

10月の診療報酬改定では、重症度、医療・看護必要度の測定に係る負担軽減及び測定の適正化を推進する観点から、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度判定に係る評価項目が見直されます。また、急性期一般入院料1（許可病床数 200 床以上）を算定する病棟については、重症度、医療・看護必要度Ⅱを用いることが要件化されます。医療・看護必要度はレセプト情報に基づいて自動的に算出され、記録業務の負担軽減が期待されます。

待遇について、業務内容について、看護現場は多くの課題を抱えていますが、いつの時も、政策立案の基本となるのは、現場の声です。誇りをもって看護職を続けられる職場環境の整備に貴連盟の皆さまと一緒に取り組んで参りたいと存じます。



衆議院議員
たかがい 恵美子

- ◎自由民主党
 - ・政務調査会
 - 新型コロナウイルス等感染症
 - 対策本部副本部長
- ◎衆議院
 - ・厚生労働委員会理事

新型コロナウイルス感染症2019の流行開始から三度目の春となりました。熊本県看護連盟の皆様におかれましては緊張感の続く中、ひとり一人を思いやり看護の尊い使命を尽くしていただいております。心から敬意と感謝を申し上げますとともに、そのご努力に少しでも報いる政策を実現すべく、平常心を忘れず精励する覚悟です。国会の華たる衆議院予算委員会のテレビ入り集中審議では、自民党を代表して質問させていただき栄誉にあずかり、生涯忘れ得ぬ貴重な機会となりました。パンデミックの長期化は、現代社会が内包してきた解決困難な課題の弊害をも浮き彫りにしています。渾沌の情勢にあってもその先に行く打開策が示せるかどうか問われていることを感じます。岸田政権が掲げる看護職の給与引き上げは、私たちの悲願でもあります。その完全実施に向け、性根を据えた取り組みが大切な時代を迎えています。これからも知恵を出し合い、力を合わせてまいりましょう。



参議院議員
石田まさひろ

- ◎自由民主党
 - ・参議院自民党国会対策委員会
 - 副委員長
- ◎参議院
 - ・厚生労働委員会筆頭理事

～コロナ禍にあっても、新たな一歩を～
熊本県看護連盟の皆様、コロナ禍にあって日々多くの試練に直面しながらも、県民の命と健康を守ってくださり心より感謝申し上げます。コロナ禍にあってもなお、医療の最前線で希望に向かって歩みを止めない皆様の足跡は、看護の歴史に刻まれることでしょう。

振り返れば、看護は過去何度も大きな困難に直面してきました。戦後の圧倒的医療ひっ迫、高度成長期の急速な病床数増加と看護師不足、疾病構造の変化、病床転換の波など。先輩方はその都度知恵と力を結集し乗り切ってこられました。貴連盟の長きにわたるご貢献を、看護職の一員として誇りに思うとともに敬意を表します。

その先輩方の志を引き継いだ皆様から、私は国政に送り出されました。看護職の待遇改善と社会的地位の向上は私の使命です。近年は、診療報酬上の条件緩和、慰労金の確保、ワクチン接種の迅速化、経口治療薬の推進などに全力で取り組んで参りました。現在は、参議院厚生労働委員会筆頭理事として、政権の推進する公的価格増額の流れが皆様に行き渡るよう身命を賭して尽力しているところです。

一方、来るべき未来の看護課題とも向き合わなければなりません。「世界に誇る日本の医療制度」は、医療従事者の献身的犠牲の上に成り立ってきたと私は考えています。これを抜本的に変えなくてはなりません。医療計画、診療報酬、社会保障制度など、手を付けなくてはならない分野は多岐にわたります。これからも皆様と力を合わせて頑張ってまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。

2021年度 日本看護連盟総会に参加して

熊本3支部 支部長 訪問看護ステーションまいん 蓑田 純子

日 時：2022年2月25日
 会 場：ザ・プリンス パークタワー東京
 参 加：72名



大島会長の開会のあいさつに始まり、岸田総理、安倍元総理などの祝辞がビデオで上映されました。その祝辞の内容から、コロナ禍での看護職の活躍に対し感謝の言葉と看護職に対し多大な評価をいただいていることを実感いたしました。会場では、あべ俊子衆議院議員の来賓あいさつがあり、連盟活動に対する謝辞と今後の活動についてエールをいただきました。

議事については、数人の代議員からの質問はありましたが、出席者の協力のもと滞りなく終了しました。その後、今夏の参議院議員選挙の候補予定者として承認された「ともものう りお」氏の決起集会が行われました。最初に紹介ビデオが流れ、ビデオでは経歴や今回立候補することに対する思いなどについて紹介されました。続いて、大島会長の応援スピーチ、後援会会長の挨拶があり、最後に友納さんのスピーチがありました。スピーチの途中感極まって言葉が詰まる場面もあり、強い決意を感じ取ることができました。私たち看護職の為、私たちの声を必ず国政の場に届けて下さるものと思います。連盟一丸となって応援して参りましょう。



ともものう りお氏

友納 理緒
 保健師／看護師／弁護士



ホームページ

看護を活用した
強い日本づくりを目指す。

- 国民のいのち・生活を守る
- 子どもの成長と安全を見守る
- 女性が生き生きと活躍できる
- 住み慣れた場所で穏やかに暮らせる

【経歴】

- 2003年 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業（看護師、保健師免許取得）。
- 2005年 医療現場を経験するなかで、医療事故が発生したときに医療者の力になりたいと考え、弁護士を志し早稲田大学大学院法務研究科に進学。
- 2010年 司法試験に合格。都内法律事務所勤務を経て土肥法律事務所開所。
その後3年間、衆議院議員政策担当秘書を経験。
- 2015年 公益社団法人日本看護科学学会研究倫理審査委員会委員に就任。
- 2019年 一般社団法人日本看護学校協議会共済会顧問弁護士に就任。
- 2020年 公益社団法人日本看護協会参与に就任（2022年まで）。

2022年度 熊本県看護連盟通常総会プログラム

日時／2022年5月15日(日) 会場／ホテル熊本テルサ テルサホール

- 13:00 開場 受付
 13:25 オリエンテーション
 13:30 開会
 物故会員への黙祷 会長挨拶 来賓あいさつ 来賓紹介
 議長団選出 議事録署名人の選出
 14:00 報告事項
 2021年度 熊本県看護連盟通常総会報告
 2021年度 都道府県会長会報告
 2021年度 役員会報告
 2021年度 活動報告
 2021年度 決算報 監査報告
 審議事項
 第1号議案 2022年度スローガン(案)
 第2号議案 2022年度活動計画(案)
 第3号議案 2022年度予算(案)
 第4号議案 選挙対策(案)
 第5号議案 役員選出(案)
 15:20 閉会

2022年度 総決起大会

- 15:30 総決起大会 開会
 主催者挨拶
 来賓挨拶
 来賓紹介
 候補予定者紹介・応援メッセージ
 参議院議員選挙候補予定者 友納理緒(とものお りお)氏 スピーチ
 頑張ろうコール
 17:00 閉会

熊本県看護連盟通常総会提出議案

第1号議案 2022年度スローガン(案)

「届けよう看護の声を！ 私たちの未来へ」

第2号議案 2022(令和4)年度 熊本県看護連盟活動計画(案)

重点方針：見える活動、行動する会員、確かな組織づくり

目的	目標	事業方針	活動
Ⅰ 政治力・政策実現力の強化	1.看護職国会議員の選出・支援	1)第26回参議院議員選挙における組織内候補予定者の高得票当選	①後援会入会を推進する(会員1人5人以上) ②SNS、リーフレット等を活用し、候補者名の知名度を上げる ③投票行動(地方区・比例区)、特に期日前投票を奨励する
		2)公職選挙法の遵守	①選挙実践の手引きを活用し、コンプライアンスに基づいた安全な活動を実施する
		3)第26回参議院選挙の総括を行う	①第26回参議院選挙に関する会員意識調査を行う
		4)看護職国会議員活動を知る、知らせる	①国政報告会や国会議員との意見交換会等 ②広報紙や活動報告等により看護職国会議員の活動を周知
		5)衆議院看護職国会議員の確保	①次期衆議院選挙に備え、看護職議員の選挙区の支援を行う
	2.看護政策の実現	1)日本看護連盟・熊本県看護連盟の政策実現力の強化	①日本看護連盟(本部)からの看護政策関連情報を会員知らせる ②ブロック別看護管理者等政策セミナーに参加
		2)現場の課題の把握と対応	①意識調査、研修会や現場(支部・施設)の声から課題を抽出 ②本部や看護職国会議員に情報提供 ③成果を会員に知らせる ④政策の活用状況を把握
		3)新型コロナウイルス感染対策に関する政策の推進	①現状把握、日本看護連盟や関係国会議員等に情報提供 ②県看護協会と連携、地方議会・地方行政へ要望活動 ③成果を会員に知らせ、必要に応じて、会員や看護職を支援
	3.看護を理解する国会議員の確保と支援	1)熊本県選出の国会議員との連携強化	①県選出の国会議員への看護問題に関する要望活動 ②県選出の国会議員の政策説明会等に参加し情報交換 ③看護問題対策議員連盟への要望活動に関する支援要請
	4.地方議会・地方行政への影響力の強化	1)地方議員の看護問題への理解を得る	①県議会議員と看護職との交流会を開催 ②地方議員の看護現場体験を実施し、現状を伝える(COVID-19状況による) ③地方議員が主催する行事や会合等に参加し意見交換
		2)地方議会・地方行政等への要望行動	①地方議会及び地方行政へ看護政策に関する要望活動 ②地方行政との情報交換
		3)動向に関心を持つ	①県議会等の傍聴、行政・議会だより等
	5.看護職地方議員の擁立と支援	1)看護職地方議員との連携	①看護職地方議員との情報交換と支援 ②看護職地方議員の活動を知る
		2)地方議員候補者の発掘と人材育成を図る	①地方議員立候補者への支援 ②政治・政策に関する育成プログラムへの参加を支援
	Ⅱ 組織力の強化・拡大	1.看護連盟の活動強化及び周知徹底	1)広報活動の充実と媒体を活用した支部・施設などでの広報活動
2)自律した会員の育成と活発な情報交換			①看護管理者・看護教育者研修 ②支部役員・連絡員(リーダー)研修 ③若手・新入会員を対象とした基礎研修 ④支部・地域毎の研修を実施
3)OB会の組織化・活性化			①退職した会員向けの情報提供及びOB会に対する意向調査 ②調査を踏まえ、参加したくなる企画を工夫し実施する
2.会員数の増加			1)2022年度の増員目標数の設定

目的	目標	事業方針	活動		
Ⅱ 組織力の強化・拡大	2. 会員数の増加	2) 看護連盟入会・継続の促進	① 転職者(施設変更)の継続入会の促進 ② 新入職、中途採用者へ連盟の必要性を周知 ③ 産休・育休者に定期的情報提供を行い、入会継続の働きかけ ④ 看護管理者に情報提供や入会増への支援と協力を依頼		
		3) 学生会員の確保	① 実習施設において看護学生に働きかけ学生会員の入会を促進 ② ポリナビワークショップ等への参加を呼び掛け ③ 学生へ看護政策に関する情報提供		
		4) 交流会開催や様々な情報交換により、連盟に対する理解を得る	① 看護教育に携わる看護職との交流 ② 訪問看護や地域ケアに携わる看護職との交流 ③ 助産師会、助産師職能など、母子ケアに携わる看護職との交流 ④ 精神科看護に携わる看護職との交流 ⑤ 栄養士会・保育士会等の他団体との交流		
	3. 支部組織活動の強化・促進	1) 支部組織の強化	① 本部及び熊本県看護連盟の活動、各支部の活動を共有 ② 青年部幹事の活力を支部活動に活かす ③ 役割を發揮できる適正な数のリーダー(連絡員)を育成		
			2) 支部における研修の充実	① 支部の施設・部署管理者交流 ② 地域別・少人数の基礎研修会・リーダー研修会の実施 ③ 支部役員・連絡員が一人ひとりの会員へ情報提供(ミニ研修)を実施 ④ Web会議システムやHP等の媒体を活用した研修開催	
			3) 全国・ブロックの青年部活動を強化する	① 全国・九州ブロック青年部会議の情報を共有し活動に活かす	
		4. 若手会員の育成	1) 青年部の活動を強化する	① 看護政策(政治)に興味関心を持ち、青年部の活力を県事業に活かす ② 支部の幹事として、基礎研修・会員研修・ミニ研修等の活動 ③ 関係団体等の青年部との交流促進	
	2) 県が主催する研修等を青年部を中心に実施する		① 若手・新入会員研修の企画運営 ② 熊本ポリナビワークショップを開催 ③ 支部会員研修、基礎研修に活用する教材の作成		
	3) 全国・ブロックの青年部活動を強化する		① 全国・九州ブロック青年部会議の情報を共有し活動に活かす		
	5. 看護協会と看護連盟の連携と協働	1) 熊本県看護協会との連携と協働	① 第26回参議院選挙をともに戦う ② 県看護協会と協議し要望書作成、行政・議会等へ働きかける ③ 日本看護連盟・看護職国会議員からの情報を共有 ④ 看護協会・看護連盟の県役員・支部役員の交流会、情報共有 ⑤ 看護協会と合同研修会を開催、連盟活動の理解者を増やす		
			6. 熊本県看護連盟の適正な運営	1) 熊本県看護連盟規約等に基づいた効率的な運営	① 規約等に基づく、効果的・効率的な運営 ② 会議・研修等の報告書等を適切に管理
				2) 県看護連盟規約・細則の見直し	① 現状に応じた規約・細則等を見直しを行い、次年度総会へ提案
				3) 財政の健全化と適正化	① 財政の確保と効果的な活用
				7. ブロック協議会の活動強化・促進	1) ブロック協議会の活性化
	8. その他の組織との連携・協働	1) 看護職以外の関係団体との交流促進	① 医療・福祉系等団体(栄養士・保育士・介護職等)との交流・連携 ② 支援団体、支援企業との交流		
① 日本看護連盟や熊本県看護協会等から情報収集、被災地の支援 ② 県会員の被災状況を把握し、被災者に対して必要な支援。					
Ⅲ 会員の福祉の充実	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援	① 日本看護連盟や熊本県看護協会等から情報収集、被災地の支援 ② 県会員の被災状況を把握し、被災者に対して必要な支援。		
		2) 被災地の声を収集し、対策に活かす	① 被災地現場の声を把握し、国会議員、県会議員、関係団体と連携し、支援に繋げる		
	2. 慶弔への対応	1) 看護連盟規約に基づく対応	① 名誉会員・表彰者への対応 ② 物故者への弔慰の対応 ③ 叙勲等受章者への対応		
			3. 諸問題への対応	1) 会員の安全の保証	① コンプライアンスに基づく政治活動、選挙運動の教育・指導を徹底 ② 諸般の疑問・問題には、専門家と相談し速やかに解決

第3号議案 2022年度 予算(暫定案)

2022年4月 1日
2023年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

項 目	2022年度予算額	備 考
I 会 費	18,000,000	正会員7,200名×2500円
II 交 付 金	15,000,000	本部交付金、研修助成金
III 研 修 会 費	0	県主催研修会参加費
IV 預 金 利 子	500	
V 広 告 料	100,000	広報紙ひごつばき
VI 寄 附 金	0	
VII 雑 収 入	10,000	
前 年 度 繰 越 金	29,136,177	
総 計	62,246,677	

(支出の部)

(単位:円)

項 目	2022年度予算額	備 考
I 会 議 諸 費	4,350,000	
総 会 費	1,500,000	通常総会経費
支 部 長 合 同 会 費	1,500,000	月1回開催
役 員 会 費	350,000	適時開催
委 員 会 費	1,000,000	広報委員会、青年部会
II 事 業 費	26,000,000	
組 織 対 策 費	14,000,000	本部主催会議・総会等出張費・役員、青年部活動費
教 育 費	3,000,000	研修費
渉 外 費	500,000	慶弔費
機 関 紙 発 行 費	2,000,000	ひごつばき発行費
支 部 交 付 金	6,500,000	支部組織対策費・研修費等
III 運 営 維 持 費	25,900,000	
人 件 費	18,000,000	会長・職員・パート給与、社会保険事業主負担
光 熱 水 費	400,000	電気、水道料等
備 品 ・ 消 耗 品 費	1,000,000	備品、事務用品等
事 務 所 費	5,500,000	事務所借料、通信費、印刷費等
事 務 所 設 置 準 備 資 金	1,000,000	事務所等災害対応の備えとして別途積立
IV 予 備 費	5,996,677	
総 計	62,246,677	

*但し前年度繰越金については支部会計報告未提出分があり概算とした

2021年度 熊本県看護連盟 リーダー研修会 報告



熊本2支部支部長 菊南病院 吉澤裕美子



日 時：2022年2月19日（土）13：30～16：00

会 場：ホテル熊本テルサ 大樹

参加人数：81名（オンライン63名、会場参加18名）

研修会は、感染対策を講じ、集合とオンライン併用により、3題の講義が行われた。

1. 「国政の動き～看護職員だからできたこと」 講師：前衆議院議員 木村弥生氏

看護の視点で取り組み、成果を上げたこととして、医療的ケア児支援法、特別養子縁組制度、液体ミルクの普及、児童虐待、DV被害者支援など。コロナ関連では、安倍総理に「看護師に直接の危険手当を」と直訴したこと。ワクチン早期接種に、訪問看護師や助産師を追加できたこと等をあげ、看護師の労働環境改善、報酬上の評価、看護提供体制について、国会で取り上げていかなくては改善、向上は望めない。国会議員の仕事、政治家の役割は、平和、経済の安定、それが社会保障の充実につながるということを強く訴えられた。

2. 「看護職国会議員のいる意味」 講師：熊本県看護連盟会長 矢野メリ子氏

看護職国会議員がいる意義について話された。現在は、参議院議員1名、衆議院議員2名の3名である。国を動かすには、国会議員の理解と協力、賛成を得て法律や制度を作っていくこと。看護職への理解者を増やすことで、国会で看護の問題が取り上げられ改善、向上の議論ができる。自党内に看護問題対策議員連盟という組織があり、衆議院に257名、参議院に75名の国会議員が会員となっている。代表議員に力を発揮してもらうには、得票数と党員数、他議員の理解、現場の声がものをいう。看護連盟の役割は看護師の組織力を高めることでもある。日常の看護の現場で起こる問題について意識すること、ひとりひとりが自律し自分たちが政治を変えたいという強い意志を持つてほしい。ということ強く訴えられた。

3. 「後援会活動の推進」 講師：熊本県看護連盟幹事長 工藤秀子氏

連盟活動の意義、後援会活動の推進、選挙の大切さについて話された。看護協会は、データ収集、エビデンスの開発、政策の提案をする。看護協会の政策実現のために活動する協会員の集まりが看護連盟である。連盟会員の努力があり、国政に議員を送り、法律が変わり、すべての看護職が益を享受している。しかし、残念なことに、なぜか、選挙に行かない看護職が多い。仕事で忙しかった、関心がない、面倒だったなどの理由で。変則勤務が多い看護職には、ぜひ期日前投票を利用してほしい。候補者の名前や業績を知り、知らせ、投票に行ってもらいたい。ということ強く訴えられました。

この研修を通し、多くの方に連盟を知ってもらいたいと思った次第でした。

2021年度 熊本県看護協会 看護連盟合同研修会 報告



熊本1支部 くまもと成仁病院 國實 美希

テーマ

「看護と法律～感染対策防止の水準とコロナハラスメント～」

講師：友納 理緒氏

日 時：2022年2月28日（月）13：30～15：30

会 場：熊本県看護協会研修センター オンライン研修

参加人数：77名（オンライン72名、会場参加5名）

私たちが行う看護行為は、保健師助産師看護師法などの法律で定められているとのことである。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、感染管理認定看護師や感染症看護専門看護師など専門性の高い看護職が活躍する中、常に新しい情報を得ながら適切な感染予防対策を行い、そのことを記録に残すことが重要である。また現在、医師・看護職の働き方改革を進めるためのタスクシフト・シェアが議論され、専門性の高い看護師を育成する仕組みとし特定行為研修指導者講習会の制度創設やナースプラクティショナー制度の構築などが進み、相対的医行為に含まれる範囲を明確にする必要が出てきていることを友納先生は述べられた。

一方で、実際は『診療の介助と療養上の世話』の範囲を具体的に区別することは難しく、またコロナ禍で今までにない環境の中で看護業務は煩雑化し、法律が現状に追いついていない状況にある。

感染症だけでなく、様々な災害により人々の健康が危ぶまれるような有事の際には、必ず看護職の力が必要となる。私たちが看護職が、より安全に質の高い看護、自分らしく楽しい看護の提供ができ、それを継続していくためには、法の整備、改正が欠かせないと思う。

看護職である私たち一人一人の力は小さくても、職能団体として一致団結して選挙に参加し、看護職の国会議員を送り出すことで現場の意見が国会に届き、看護の現場を変えていけることを再確認することができた。

第26回参議院選挙において看護職の代表である友納先生が、この度自由民主党公認候補者となられたことはとても喜ばしく、またその活躍に期待される。

看護連盟会員として、今回学んだことを看護職に広く周知できるよう働きかけ、看護職全員一丸となって友納先生を応援していきたいと痛感する講演であった。

2021年度九州ブロック協議会看護連盟会長・副会長・幹事長・青年部研修会

日 時：令和4年3月14日13:00～15:30

場 所：JR博多シティ会議室・オンライン

参加者(内全体：集合4名(30名)、オンライン3名(22名)

内 容：講演「有権者として知っておきたい選挙のこと」

福岡県選挙管理委員会 事務局 主任幹事 淵上貴司

青年部活動報告・意見交換



九州ブロック協議会久米春代会長(長崎県看護連盟会長)は挨拶でCOVID19の影響で延び延びになっていたが、タイムリーな時期・テーマで研修会が開催できた。参議院選挙の組織内候補予定者が、2月25日の日本看護連盟通常総会において、ともものう りお氏に決定した。決まったからには、「高得票で、国政に送る。期日前投票に行く。選挙違反をしない。」をモットーに頑張りましょう。と力強くのべられた。

淵上氏は、3点について分かりやすく講演された。

【投票に行くことのメリット】日本では10～20代の投票率が低い。若い人は自分の力では何も変えられないと思いい、投票に行かない人が多い。ベルギーやスウェーデン、デンマークといったEU諸国の投票率が高い。スウェーデンでは、小学校6年の社会の教科書には投票に行くことや自分の意見を社会に反映させるために集会やデモを行うことは大切だと書かれている。学校内では様々な機会に投票する習慣がある。例えば、新しい遊具を購入するときは、限られた予算でどんな遊具にすればいいのか、全校児童で投票する。高校生になると大臣と国の課題について議論し、それは政策に反映されることもある。投票することは確実に社会参加できると実感するということであった。

【有権者でも行える選挙運動】インターネットを活用した選

挙運動、ウェブサイト(SNS、ホームページ、YouTube)で選挙運動を行うことは問題ない。メールの送信は政党/候補者以外には行うことができない。メールでの選挙運動の制限が厳しい理由は、送受信は外部から確認することができない(なりすましなどの恐れ)。ウイルス感染の恐れがある。ということであった。

【有権者の選挙運動違反】公平で、お金のかからない選挙を実施するために、いろいろな制限がある。ということであった。

青年部活動報告は、各県から2021年度の活動報告、ポリナビワークショップ、若手会員研修、学校訪問等の発表があった。熊本県の段下委員長は、2021年度活動に加えて、新たに若手会員向けの動画作成や2022年度の研修企画の発表を行った。

今回の研修を活かし、会員の皆様とともに、看護職代表を高得票で国政の場に送りだし、結果、看護職の悲願である処遇改善(賃金アップ)に繋げましょう。看護職の賃金は、夜勤手当があり、基本給の低さが見落とされています。すべての看護職のベースアップを実施し、国家公務員医療職俸給表(三)を改定すること、そして、看護職の「役割」と「能力」に応じた評価・処遇への賃金体系を見直してゆく活動に繋げていきましょう。(文責:工藤秀子)

ともものう りおです
フォローをお願いします!

その① 公式LINEで友だちになってください



ときどきお知らせがあります
バナーから簡単にホームページに移動するバナーもあります

その② SNSでフォローしてください



facebook



Instagram



YouTube



twitter



お知らせ

全国ポリナビワークショップ2022

日時 2022年5月24日(火) 15:30~17:00

方法 オンライン(申込先着500名)
zoom webinar 入室開始15:00から

対象 看護職・看護学生(会員・非会員問わず)

ゲスト 友納理緒氏(看護師・弁護士)

看護版「54字の物語」

— 看護学生版・看護職版 —

**参加費
無料**

 参加申込み
フォーム


氏田雄介氏の大ヒット書籍「54字の物語」(PHP出版)になぞらえて、看護職あるあるや看護学生あるある、看護にまつわる体験談や面白エピソードなど、事前応募作品から自分の好きな作品を投票しよう!

作品募集中! あなたも応募してみよう!
熊本県看護連盟ホームページをご覧ください。

東洋羽毛
睡眠セミナー
無料サービスのご案内

水と、空気と、睡眠と。



東洋羽毛イメージキャプチャー 横井かおり氏

よく眠った人には、かなわない。

＊— 今よりもぐっすり、幸せな毎日のためのヒントがきっと得られるはずです — ＊

**睡眠セミナー講師を
無料で派遣いたします。**

東洋羽毛では「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただければ幸いです。

東洋羽毛九州販売株式会社熊本営業所

 〒862-0913 熊本市東区尾ノ上1丁目7番3号
フリーコール 0120-382808



カンタ君



レンコさん

2022年度の入会を受付けています。
早期の入会の手続きをよろしくお願い致します。
熊本県看護連盟事務局より

ベッドサイドからの声を国政に反映しましょう!

熊本県看護連盟の
目標会員は **7,500人**です!

年会費

日本看護連盟会費 5,000円
熊本県看護連盟会費 2,500円 合計 7,500円

看護連盟会員入会状況

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
看護協会(人)	15,866	15,880	15,820	14,265
看護連盟(人)	7,143	7,262	7,212	6,342
協会員比率(%)	45.0%	45.7%	45.6%	44.5%

(4月5日現在)

お知らせ

◎2022年度
熊本県看護連盟通常総会・総決起大会
日時: 2022年5月15日(日) 13:00~
会場: ホテル熊本テルサ テルサホール

◎2022年度 若手会員・新入会員研修会
(ZOOMを利用したオンライン研修)
日時: 第1回2022年6月 3日(金) 14:00~16:30
第2回2022年6月10日(金) 14:00~16:30

編集後記

2月の下旬に始まったウクライナ侵攻で、毎日のように心が痛む内容が放映されています。そして、3月16日には震度6強の宮城・福島地震が発生しました。軍事侵攻と自然災害でこの先どのようになるのかと不安になってしまいました。7月は第26回参議院選挙があります。日本の未来のため、何よりも自分自身の未来のために投票に行きましょう。

○広報委員/貞松由紀江 守田 美紀 上田 瑞保
山本江梨子 林 和美
○担当役員/岩城まつ子 村上 元子

真珠の命である「てり」にこだわって30年。万全のアフターサービスとワンランク上の真珠を提供してきました。
あこや真珠ネックレスはもちろん、普段身につけられるカジュアルなものまで多数取り揃えております。

お任せ下さい!
夢100%...心の栄養分
暮らしのコーディネート

熊本県看護連盟推薦
ISHIN

〒862-0920 熊本市東区月出8丁目3-52

0120-32-2020

取扱品目
●羽毛ふとん
●ムートンカーペット
●真珠製品

発行所/熊本県看護連盟

発行責任者
矢野メリ子

〒862-0950 熊本市中央区水前寺1丁目29番1号 ナビオ水前寺101号
TEL (096)383-0023 FAX (096)383-0163
E-mail office.kumamoto@kango-renmei.gr.jp
HP <http://knf043.sakura.ne.jp/>